

西町エリアの景観の特徴

A 見通しの変化

A-1 心地よい揺らぎのみち

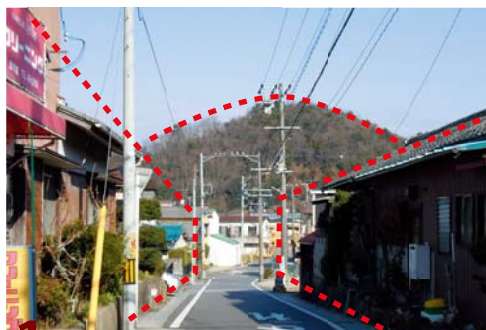


山裾に沿って地なりの高低差や曲りのある緩やかなみちです。奥に何があるのかという期待感とまちなみの変化が楽しめます。

より良い景観形成へ

まちなみに一体感をもたせるとともに、道路舗装の工夫などにより、まちなみを際立たせましょう。

A-2 山アテの交差点



北側

東西と北の三方向に山アテの景観が見られます。山の景観は街路樹などが少ないまちなかで季節感を感じられる重要な要素となっています。

より良い景観形成へ

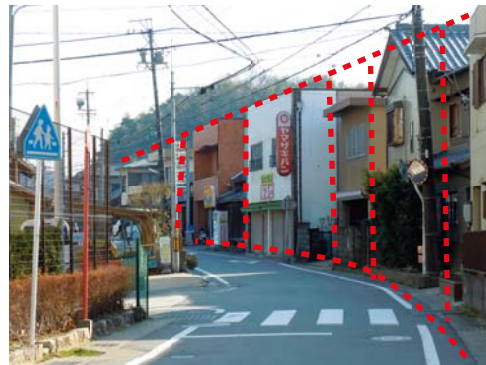
山への眺めを阻害しないよう、電線類の無電柱化や建物の高さに配慮しましょう。



旧東海道の道筋に合わせて、軒先や壁面が連続するまちなみが印象的です。多様な建物が一定のリズムで建ち並ぶことで全体に統一感が感じられます。

B リズムあるまちなみ

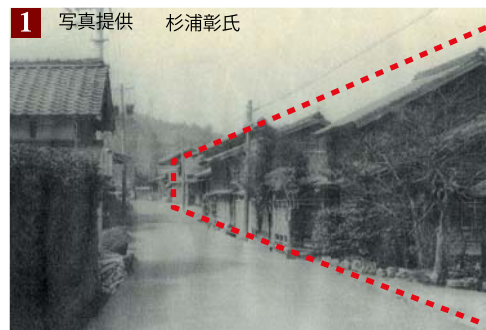
B-1 多様な中に連続性のあるまちなみ



生活様式の変化に伴い洋風や三階建ての建物もありますが、旧東海道沿いに連続するまちなみが印象的です。

より良い景観形成へ

低層階は、壁面の位置を連続させるなど、まちなみの統一感を出しましょう。



1 写真提供 杉浦彰氏

昭和 32 年 (1957 年)



平成 23 年 (2011 年)

道の駅や地域交流センターなどの新たなまちづくりが進んでいます。



東海道
藤川宿

西町エリアで景観のスパイスとなっているポイントを集めました。実際に探してみても、全体の景観にどのような効果や印象を与えているか考えてみましょう。

景観のスパイス

西町エリア



①火の見やぐら

今も高いところから藤川の安全を見守るようになびえ立っています。



②関山神社常夜燈



真正面に伸びる参道と、山並みが連なる景観が広がります。

③宿場橋



橋の名前が、藤川宿の歴史を伝えています。

④伝誓寺の水準点

国土を測るための重要な施設である水準点ですが、境内の片隅で大切に守られています。



⑤伝誓寺のクスノキ



参道からも目立つ大きなクスノキは、社寺を引き立てるアクセントになっています。

⑥百田川沿いの里山風景



旧東海道から一步入った谷沿いには美しい里山風景が広がります。

⑦道端の馬頭観音様



花が供えられ、地域の人から大切にされているのが分かります。

⑨むらさき麦畑



5月にはむらさき麦が穂をつけます。

⑪藤川駅前ポケットパーク



マツをシンボルに、御影石をふんだんに使ったデザインがまちの風格を高めます。

⑧学校の緑



まちなかの緑としては規模が大きく、まちなみに潤いを与えています。

⑩西棒鼻跡 (西棒鼻^ポケットパーク)

街道の玄関口となる西棒鼻が再現されています。



⑫山並みへの眺望



電車が行き交う線路越しに、穏やかな山並みが広がります。